

「就労支援センター・ヒューマンプラス」 就労定着支援事業

就労支援センター・ヒューマンプラス
副主任 林 江美



就労支援センター・ヒューマンプラスは、就労移行支援事業として約11年間、障害のある方の就職をサポートしてまいりました。この度制度の変更に伴い、今までの就労移行支援事業に加え、平成30年10月より新たに「就労定着支援事業」を開始いたしました。ヒューマンプラスの利用を経て就職後、半年から3

年の間毎月面談や職場訪問をすることで、企業での就労を継続するための事業です。近年は障害者雇用をする際に、支援機関とのつながりがある方を採用したいという企業も増えている状況の中、今回「就労定着支援事業」として、職場への定着支援が制度化されたことで、より丁寧な支援をすることが可能にな

っています。11年前に就労移行支援を始めた時には、企業へ就職する障害のある方の支援制度そのものが始まったばかりでのスタートでした。就職後の支援は試行錯誤しながらでしたが、支援を継続することで徐々に実を結び、就職から7年を経過する方も何人かおられます。現在ヒューマンプラ

スを利用されている方は、精神障害、発達障害、知的障害をお持ちの方が主となっております。障害ごとに就労継続のための課題は異なります。精神障害の方は体調の維持、発達障害の方はコミュニケーション、知的障害の方は生活面が課題となりやすく、障害に合わせた支援をすることで、より長く就労が可能となります。「働き続ける」ことのみを目標としているのではなく、障害のある方が、就労を含めた生活の満足度を高めていくことが出来

ばという思いを持って支援をしています。「就職をしよう」と、話す人がいなくて寂しい。仕事で困ったことを聞いて欲しい」といったご利用者の声や、企業からも「就職をしてしばらく経つが、

上司が変わったことで不安定になっている。何とか出来ないか」といった声に、就労定着支援事業を通じて応援していくことが出来ればと思います。

ケアサポートセンター けいほく

盆踊り



介護福祉士 中溝 裕幸

8月23日に山国音頭保存会より13名の皆様にお越しいただき、山国音頭と丹波音頭を歌いながら踊りの披露をしていただきました。

その地域出身のご利用者も多く、なじみがありました。いへん喜ばれていました。参加できるご利用者は一緒に歌いながら踊られ、とても和やかな雰囲気でした。一時を過ごされました。



実際に三幸会で就職され、定着支援事業を利用されているFさんにお話を伺いました。



Q 現在のお仕事について教えてください。

週5日、紫雲苑でケアアシスタントとして、環境整備のお仕事をしています。

Q 仕事をする上で大変なこともあると思いますが、困った時はどう対処していますか？

悩んでいることはすぐに他のスタッフや上司に相談しています。仕事帰りにヒューマンプラスに寄り、支援員の方に相談することもあります。

Q 定着支援事業を利用した感想をお願いします。

利用することによって気持ちや頭の整理ができ、もやもやした気持ちがすっきりします。

誰にどういうことを相談したら良いかも含め、アドバイスをもらえるのでとても心強いです。

就労移行を有する法人内での柔軟な障害者雇用への取り組みは、京都市内でも限られており、ヒューマンプラスとして今後もFさんのご活躍を後押しして参りたいと思います。

